



深い森の モイラさん

モイラ！
またそんなものを
食べているのか？

もう聞いたか？
この森に人の子が
住み着いた噂を

この「深い森」にだ…

…そんなものって
美味しいのよ
この季節のカシスって

人の子…？
ああ男の子のことね

知っているのか！？

誰かに襲われたら大変だから
こっそり見てるもの

朽ちかけた森番の小屋に
住み着いてて

毎日
草や花を摘んで

それを

大鍋で煮たり
変わったこと
ばかりしているのよ

：静かな子だね
声は聞いたことが
ないんだけど

優しい笑顔の子なの

きつとちよつと高い声のね
優しい子だと思うのっ！

モイラっ！

はい？

どうして
黙っていたっ！

子供とはいえ
人間なんだぞ！

ええええっ？

私は長老に知らせてくる

アルダちゃん…

ぎゅん

聞いて：アルダちゃん
あの子は
そういう子じゃないよお：

モイラ：

私は幼い頃に
両親を討伐隊に
殺されている

肉食…いや
人肉食をしていた世代は祖先で
うちの両親じゃない…

アルダちゃん…

幼い私は…
泣いて止めにうなった…

人間から見たらった様に
私達が一括りだった様に

私から見ても
人間も一括りだ

もし殺やノミが済むらへ

恨むなよ…

本気だ…

本気だ！…

本気だ！

どうしよう！

どうしよう！

わかんないけど
私にできることを
やってみなきゃ！



！あ

あっ

お願い！

開けて！
開けて！

あのっ
どうしても
話をおかないと
ダメなのっ！

ガッ
カッ



この森から逃げてほしいの

もしかしたら貴方は
殺されてしまうかもしれない



えっと...あの...
...ああ！

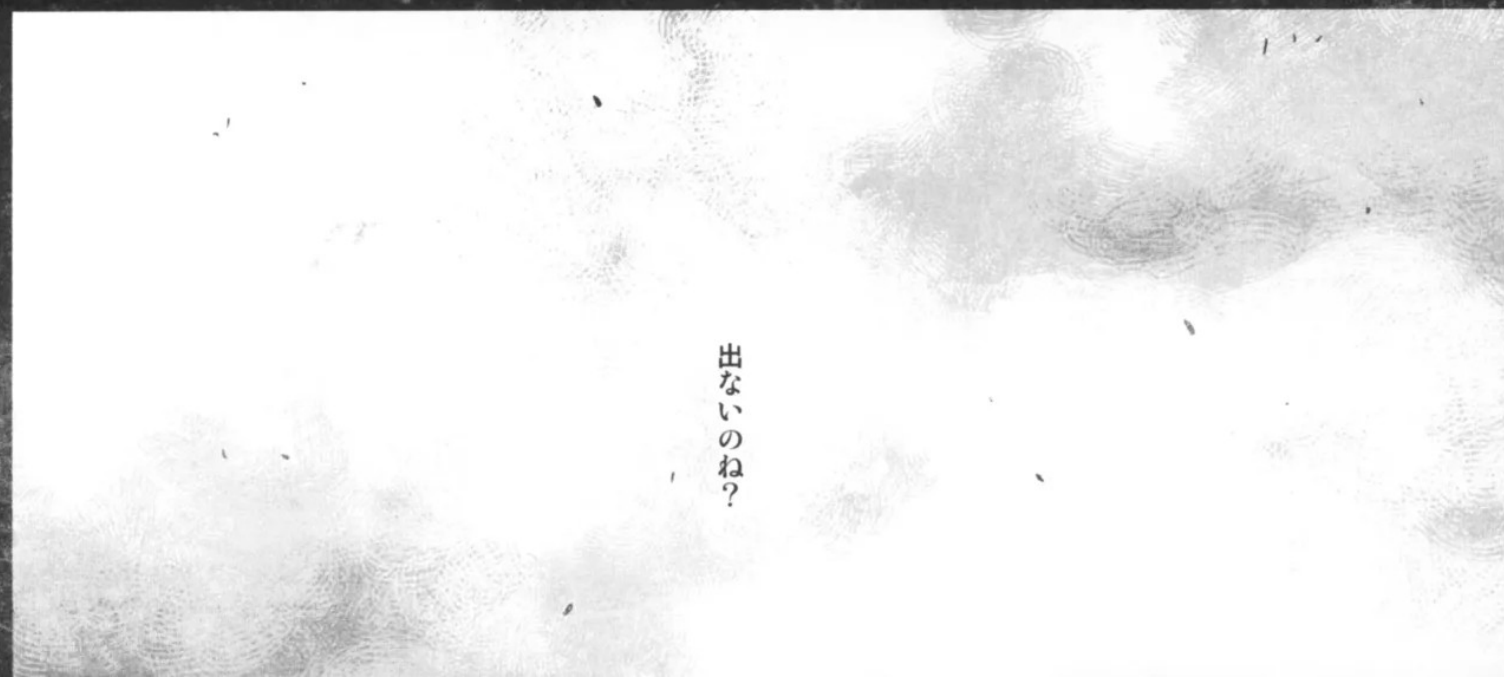
...信じて！
貴方に生きていてほしいの

ごめんね
急に私みたいなのが来て
えっと...怖いよね？



あのね...

荷物とか後で届けてあげる
ひとます...



この地より遙か東にある森は

この世の最果でよりも広く

光すらも飲み込んでしまう

長い年月が経ち

いつしかそこは

魔狼の住処になり

狼を討とうと現れた愚かな英雄達は

皆、骸にもならず

一人として、戻ることともなかった

森は人々の畏怖として

「深い森」とだけ呼ばれ

いまなお、静かに命を弄んでいる



…えっと
この黄色い花を
摘めばいいの？

昔討伐隊が歌っていた
詩にあるように

この森はこんなに危険なのに
この子は一人で生きることを選んだんだ...

父母のいる家に
帰そうと思ったのだけれど

おそろく...

ここにいたのか
モイラ!

あの人間の事なのだが...

...丁度良かった

殺すことが決まったんだ
こいつに恨みはないけれど...

この子は昨日
私の旦那様になる
約束をしたの!

モイラ!!
お前っ!
チューとかなんて破廉恥なっ

チューくらいなによ!!
今はデート中なのっ!

なっ! なあっ!

……成り行きとはいえ
ごめんなさい
逃がせなくなっちゃった

でもっ
機会を見つけて
安全に逃がしてあげる

そもそも私が
余計な事言わなかったら
見つからずに
済んだんだろうし……

だからそれまで
そのっ

……えっと

貴方の

あつ

お嫁さんに……

ホントにいいの？
年上だし
最近？お腹とか出て
きちゃったし……

えっと……
よろしく願いますう

子供の頃以来だけど……

…誰かと眠るって
すごく暖かい……♡

この子からかな？
不思議な匂いがする
植物と体臭の混ざった……

鼻がくすぐったくなる
独特な匂い

こんなに近くで
嗅ぐことになるなんて
思わなかったなあ……♡

まにっ

まっ

あ……
この子も
ドキドキしてる

？ さつきから
脚になにか当たって……

まっ まっ

まっ

まっ

……
ああ！

……
ちっちゃくても
雄なんだ……♡

……ドキドキして
ねむれない？

私もね
ドキドキするの

だ

か

ら

一緒ねっ！

ふん

ん？

ふん

ふん

だから...

!!

ごめんっ!
苦しかった?

私大きいから...
ぎゅうっしてしないように
気をつけるからっ...

ひゃんっ!

こうしてると
ダンナ様というより
赤ちゃんみたあい...

...
許してくれるの?

じゃあこっちもっ





…じゃあ
違うのしてあげる

こう…だったかな？



あら
嫌だった？

んもう！
こういう時くらい思いっきり
甘えて欲しいのにい…



森の中で交尾期
のお姉ちゃん達
してるのを見て

このくらいなら
私でもできるかなって

加減が分からないし
痛かったら
腕とか掴んで
おしえてね？

私のほうが大人なのに
なんだか
甘えてばかりね

確かこれを
動かすのよね…

…あれ？
こすったら
なんかおっぱいの間で
びくって…

…そっかあ

これ…
気持ちいいの？

なんかね
はじめて喜んでもらえた
気がするの

私ちよつと
ほんやりしてる方だから

喜ばすとか
そういうの下手で
…

だから
嬉しいなっ

の雄
雄ってこういうの
出るんだ…

ちゃんと
見たことなかったから
…

この子から出たもののなに
いつもする
植物と体臭とはちがう
匂い…

でも…

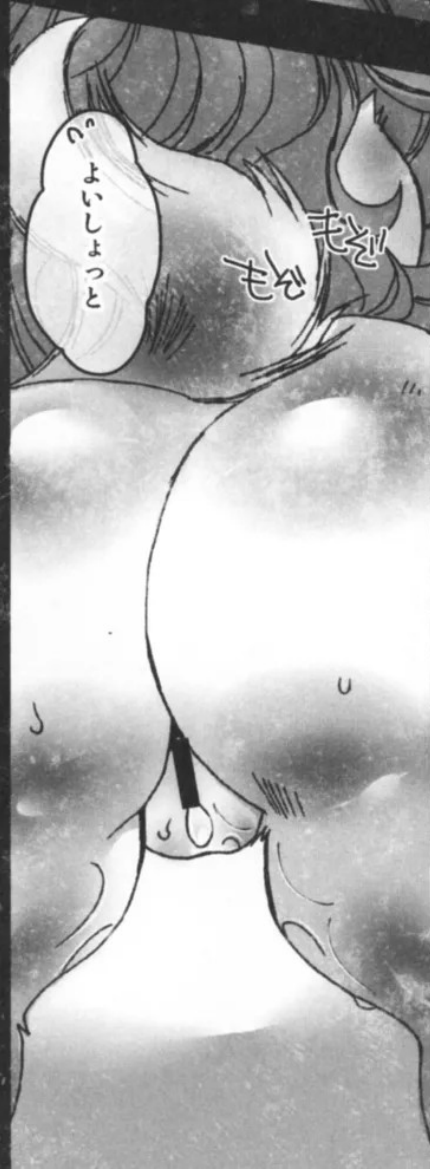
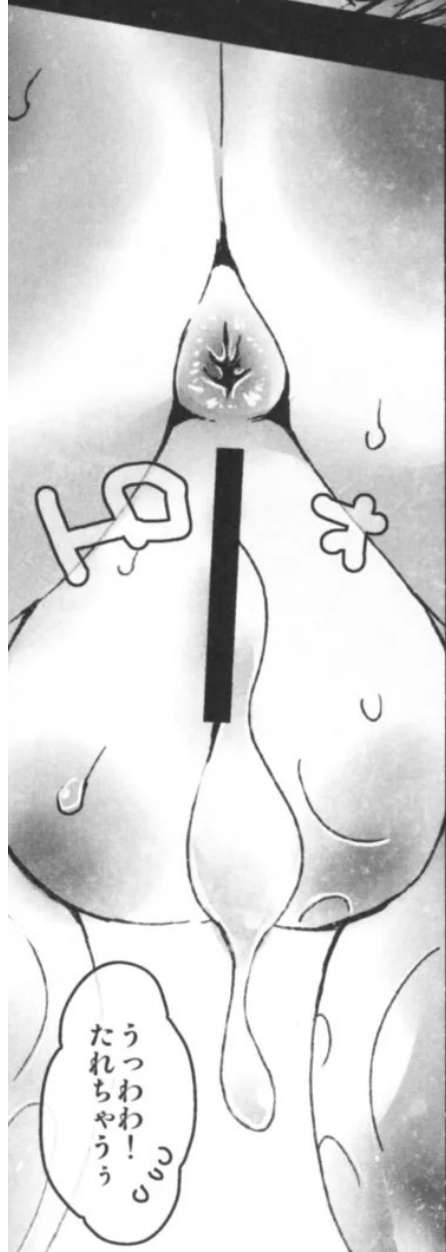
嫌な匂いじゃない
気がする…

あんなに出したのに
まだおちんちん
大きい…

のあつ
あおのね

ちよつとだけでいいの
わっ私も
してもいいかなあ？







いーいー

ちよっと
ダンナ様あ!?

えー!

おっ

おっ

だめえ!
だめじゃないけど

あん♡

さっき出したばかり
じゃないのお?♡

あん♡

あん♡

あ♡

あん♡

あ♡

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ



……すこい
奥にでてるよお……

赤ちゃん……
できちゃうのかなあ……

もうっ…
すっきりした？

動けなくなるまで
あんなことしてえ！

…寝ちゃってるの？

あらあら
転げ落ちるわよ
ダンナ様！

急に結婚とか
分かんないこと
ばかりだけど

まずはダンナ様の
名前が知りたいなあ

ダンナ様の名前が呼べないのは
さみしいもの



冬コミポスター用の「やや透けエプロンモイラさん」です
乳首とか見るとマズイかな。

ワンピースモイラさん



初期段階では白ワンピースの野生の娘って
感じで描こうとしていたのだけれど
年齢やや高めのお姉さんキャラだった
なあってことで白ワンピース設定は没に
あんまりふわっと広がらないような形
のなりたいかたかもしれないなとも思っ
けれど
そうなると思いっまり走ったり
できなそうなのでなあ...

エフロンモイラさん



冬コミポスター用に急遽服をまとわせ
エフロンモイラさん
ポスターは色々な年齢の人の目に触れる
ので乳首とか見えちゃいかなのです
会場でシールで隠すとかも面倒なので
大抵ポスター用に乳首見えない版を作り
ます

一応新妻なので裸エフロンでいいだろう
とかとても適当に思いついて
ずあっと描いて入稿

お隣のページの美しいイラストはTwitterで席さんが描いてくれた
モイラさんです

このイラストを頂いた時期はまだ進行状況があまりよろしくなく
Twitterにグレーの一枚絵位しか上げられなかったというのに
こんなにすごい描いてきましたよこの人！

丁度私の下書きが線画なんかを編集で載せようと思って
白紙のままにしていたページがありまして私の線画とか半端なのを見るくらいなら
席さんの綺麗な絵を見た方がいいでしょうと思いましてお願いしたら
使わせてくれました

最下位球団に外国人助っ人が来てホームラン打ってくれた気分です
ありがとう席さん
パースと呼ぼう

そんな外国人助っ人選手御多=席さんのサークル名は
ポモドリ・ウラドーリ
<http://www.pixiv.net/member.php?id=41524>

MOIRA IN THE
DEEP FOREST.



御多=席

FAN ART FOR
KIGEKI-GAHOU.

色々計画の読みが甘くて本来出す予定だった本(工藤さん)とは違うものが出ることになりましたが
これはこれで面白いものになったような気がします

製作日程に詰まっている際にもう少し軽い気持ちで描ける読み切りを作りたいなあ

なんてミスルノさんに相談して一緒に原案を考えもらいました

他にも作中の詩も手伝ってもらっています

描いているうちに構想が広がってきたのでこの話はもうちょっとだけ続くかもしれません
(長くなっても3冊くらいかなー…)

気が向いたらまた読んでくれると嬉しいなー

読みの甘さの極みは入稿日二週間前に
風邪を引いて高熱がひどく原稿の遅れ
が半端ない事とかだったりののですが
遠方より差し入れが届いたり頭が回ら
ない最中に的確にやることを指示して
もらえたりイラストもらえたり…
今回は本当に色々な方々の協力があっ
て無事に発行できたと思っています
本当にありがとうございました!

深い森の モイラさん

発行日 2016/12/31

発行元 喜劇画報/スガイ

連絡先 kigekigahou@gmail.com

<http://kigekigahou.blog.fc2.com/>

印刷 ラック出版

※この本はこれでも一応は成人向けなので未成年
への貸与、譲渡はカンベンしてください。
まあ他にもこれを描いた人が嫌がりそうな事とか
もやめてあげてください、よろしくですよ。

2017/01/28再販



喜劇圖報